

「心会」 に 125 人 換



芋煮を味わうお年寄り—石巻市鹿妻南1丁目
目の鹿妻西公園


石巻市鹿妻南 お年寄りから 招き芋煮会

県営、市営住宅住民
さわやかな秋空の下、
東日本大震災で被災した
石巻市鹿妻南1丁目の県
営、市営住宅の住民で組
織する明和会（加藤由美
会長）が9日、芋煮会を
地元の鹿妻西公園で開い
た。
毎年9月15日に実施し
ていた敬老会が震災の影
響で中止になったことか
ら、お年寄りと住民の交
流を図ろうと初めて企

「先祖代々の土地。今後
も可能ならば住み続けた
い。しかし、家を建てる
には経済的にも大変。行政
には安全なマンションなど
を建て、地元の希望者に
提供するののも一つの方法
だ」と提言した。


集いでは、居住関係の
希望などのアンケート調
査も実施。11月に予定さ
れている市と住民との話
し合いの場に向け、住民
の意向として取りまとめ
る。
同町内会は震災前、約
250世帯（住民600
人）が生活していたが、
60〜70人が犠牲になった
とみられ、正確な数は今
も不明。現在、同町内会
で暮らす人は高い場所に

画。真心のこもった芋煮
を味わってもらった。
ダイコンやニンジン、



内科久門医院

久門 俊勝
石巻市垂水町3丁目6の1
TEL97-4141



残った2軒だけ。
震災後、住民同士の交
流が途絶えていたが、分
散していた人々から役員
に「住民の集まる機会が
ほしい」と連絡が入るよ
うになり、8月から町内
会の旧執行部役員が打ち
合わせを重ね、集いが実
現した。

サトイモ、白菜などが入
った豚肉みそ味と、牛肉
しょうゆ味の2種類、計
約500食を用意。招待
したお年寄りや家族連れ
が次々と訪れ、舌鼓を打
った。
県営住宅で独り暮らし
の大堀さつきさん（75）
は、「みんなで食べると、や
はり味は格別。高齢者を
大切にしてくれる明和会
の皆さんの気持ちがある
しい」と感謝した。キッズ
コーナーなどもあり、子
どもたちの歓声が響きわ
たった。
加藤会長は「こんなに
大勢の人が集まってくれ
るとは思わなかった。喜
んでもらえて企画したか
いがあった。これまで世
代間交流があまりなく、
これをきっかけに何かで
繋がることをしたい」と話
した。
食材のほとんどを提供
した認定NPO法人JEN
石巻事務所など計4ボ
ランティア団体が協力し
た。